



神奈川県立

# 高P連会報

事務局 横浜市神奈川区神之木台22番14号  
県青少年課神之木台分館内  
TEL 045-432-5889  
FAX 045-432-5891  
E-mail kana.koupren@kanagawa-koupren.org  
編集・発行 神奈川県立高等学校PTA連合会  
調査・広報委員会

## 第49回高P連県大会 「学び・行動するPTA」 2011・11・17 / パシフィコ横浜

今回の第四十九回大会は、十一月十七日に約一千名余の会員の参加によりパシフィコ横浜会議センターで開催されました。

開会の言葉の後、主催者の柳川会長のあいさつ、来賓として県教育委員、校長会会長・藤井良一様、及び安全振興会理事長・團野勝美様から、それぞれごあいさつをいただきました。



講演される白鳥先生



挨拶する柳川会長

表彰式では、昨年度まで高P連にご尽力いただいた方々に感謝状が贈呈されました。  
講演は、元教育庁教育部長 白鳥稔先生より「今、人権を考える」豊かな人



表彰される原嶋前会長

権感覚が育てるもの」と題してお話していただきました。

普段はあまり真剣に考えることの少ない人権という大事なことに、保護者として社会人としてもう一度しっかりと考えるきっかけになったかと思えます。  
白鳥先生が言われた「自分以外の他のひとの大切さを認める」という意識を常に持ち続けていきたいものです。  
今回は、大会の効率的な運営を図ることで午後からの開催とさせていただきます。各単位PTAの皆様様の費用負担の軽減と活動時間の短縮を行いました。



### 研究発表

#### 元石川高校

「その時：災害に備える」では、学校と保護者双方にアンケートをとって現状の意識を調査しながら防災学習・避難訓練という実際の活動につなげていく様子が発表されました。  
「自分の身は自分で」、「他人を助けられる人」という提案がなされました。

紹介のあった、「セーフティカードの作成」「防災センター体験」「ゴーヤカーテン」「防災力シート」などは他の単位PTAにとっても大変参考になる活動だと感じられました。

このように学校と保護者双方で防災意識を持ち続けながら活動を継続していくことはとても重要です。



#### 横浜南陵高校

「思いを発信しよう、そして発信しているひとを応援しよう」自分へのきづき・他人へのきづき」では生徒と保護者が思っていること・考えていることをアンケート・座談会などのさまざまな活動を通じて丁寧な細かく分析を行った上で、もっと話そう・相手のことを聞こうというアピールがされました。「挨拶を愛(あい)言葉」

に、相手の気持ちを知り自分の気持ちを伝えながら家庭・学校・地域それぞれでひととの関わり合いの中で生きてほしい、という力強くあたたかいメッセージが会場全体を包み込みました。

#### 秦野高校

「秦高元気です！ 笑顔のPTA活動」PTA活動の原点」では、会場の方々も思わず参加したくなるような元気で楽しい、あたたかい活動内容が紹介されました。浴衣でのパフォーマン



スも、会場全体が一体となるとても楽しいものでした。

### 会長のつぶやき

神奈川県立高P連 会長 柳川 秀史



このたびの東日本大震災により被害を受けた皆さま、およびご家族の方々にご挨拶申し上げます。一日も早い復興と皆さまの健康を心からお祈り申し上げます。被災状況の違いはあれ、この神奈川の地でも少なからず影響のあった未曾有の

大災害と、それに伴う原発の事故に見舞われ、激動の年の県高P連活動となりました。日本全体に漂っていた自粛ムードに行事の取り止めが相次ぎ、私たちが検討する場面があったことを思い出します。日本国民がすべからず被災地との関わりを考えている中、神奈

川県で実践するPTA活動も義援金等でお役に立てたのでしょつか。つらい、悲しみにくれた年でしたが、あらためて地域や学校、そして身近な防災について見つめ直す良い機会となったと思います。

被災地の子どもたちを受け入れた県立高校もあり、保護者の一人として感謝の念に耐えませぬ。子どもたちの、高校生の弾ける感受性や創造性、そして瑞々しい心をしっかりと支えていきたいと思いつける今日この頃です。

「いつてきます」「いつてらっしゃい」「ただいま」「おかげさまで」この幸せなやりとりが、いつまでも続いていますように...  
そして、当たり前前の日々に感謝し、一日一日を大切に一生懸命生きていけますように...

### 气象台

生きることの大切さ

「いつてきます」「いつてらっしゃい」「ただいま」「おかげさまで」この何気ない声かけに、とても大切な気持ちや思いがいつぱい詰まっています。ただいま。無事に帰ってきましたよ。

おかげさ。よかったです。ケガもなく無事に帰ってきてくれて、ありがとうございます。大袈裟かもしれないけれど、この当たり前の幸せが本当に大切に素敵なことなのです。

昨年、東日本大震災や紀伊半島大水害で多くの尊い命が失われ、命の大切さを改めて考えさせられました。生きていくことは、それだけで素晴らしいことなると、多くの人が感じたのではないのでしょうか。

命は大切なもの。一回なくしたらもう戻ってきません。未来を担う子どもたちが、自分の命、そして他者の命をも大切に、命のバトンを繋いでいきますように...

「いつてきます」「いつてらっしゃい」「ただいま」「おかげさまで」この幸せなやりとりが、いつまでも続いていますように...  
そして、当たり前前の日々に感謝し、一日一日を大切に一生懸命生きていけますように...



第35回  
平成23年度

# PTA 広報紙 コンクール

## 「ビジュアルなレイアウトに関心」と審査員評

大寒の1月26日かながわ県民センター2階ホールで、第35回広報紙コンクール表彰式・講演会が行われました。94校の応募の中から各賞に輝いたPTA広報紙はどれも思考を巡らした素晴らしい出来栄で、審査委員長神奈川新聞社の丸山孝さんからは「かなりの完成度」との審査講評を戴きました。武勝美先生の講演会では広報紙作りのポイントについて楽しく分かりやすく教えて戴きました。PTA広報紙の役割は何か…会場の皆さんのこれからの活動に期待したいと思います。

作文朗読は、県立中央農業高校の三川浩正さんの「心と心を繋ぐ輪・野菜を育てて」、県立多摩高校の前之園和喜さんの「前を向いて歩いて行くために」。高校生の朗読に会場全体が温かく包まれて心が満たされるていような雰囲気の中で、広報紙コンクール表彰式・講演会は終わりました。



具体例を挙げて、わかりやすく説明する武先生



表彰される横須賀高等学校PTAのみなさん

今回、参加したのは94校。独学でノウハウを積み重ねながら、ここまで洗練された紙面を作ることができるのかと、驚くばかりでした。学校や街を丹念に歩き、取材にあたった苦労がうかがえる記事も多く見られます。デジタル機器による編集効果もあり、複雑でビジュアルなレイアウトも実現しました。

ただ、より高度な要求をさせていただくとするならば、各紙に共通するテーマがあまりに多いことに違和感も覚えました。労作

であるアンケート特集でも「防災」や「ネット犯罪」などが散見されます。もちろん時代性やニーズを考えれば、同様の企画が生まれて当然です。広報紙に求められる役割もあり、多様性を求めること自体に無理があります。

しかしPTA広報紙は、地域の大切な「メディア」ともいえます。時には、その学校が抱える課題や独自のカラーを打ち出す試みがあってよいのかもしれません。編集スタッフの方々の力量に驚かされたゆえの要望です。

講評  
神奈川新聞社  
丸山 孝



(左より)  
県立高等学校PTA連合会賞  
神奈川総合高等学校PTA  
県立高等学校校長会賞  
小田原高等学校PTA  
神奈川新聞社賞  
百合丘高等学校PTA  
県教育委員会教育長賞(最優秀賞)  
横須賀高等学校PTA



(左より)  
神奈川新聞社賞  
多摩高等学校PTA  
県立高等学校校長会賞  
希望ヶ丘高等学校PTA  
(財)県立高等学校安全振興会賞  
平塚江南高等学校PTA  
県立高等学校PTA連合会賞  
上溝南高等学校PTA



(上段左より)  
県立高等学校PTA連合会賞  
光陵高等学校PTA  
大和高等学校PTA  
秦野高等学校PTA  
(下段左より)  
県立高等学校PTA連合会賞  
生田東高等学校PTA  
市ヶ尾高等学校PTA  
大船高等学校PTA  
七里が浜高等学校PTA



(左より)  
特別賞  
茅ヶ崎北陵高等学校PTA  
審査委員賞  
追浜高等学校定時制PTA



### 特別賞・ 審査委員賞

## 地区大会

「学び行動するPTA活動を目指して」

今年度も、県高P連の活動方針と重点目標の一つとして掲げている『生徒の豊かな心を育む活動の推進』を再確認するため、各地区会員の研修の場として、県下10地区と1専門部会において、地区大会を開催いたしました。8月23日の専門部会をスタートに、10月29日の県西地区大会まで、約2カ月にわたり、各地区で盛大に開催することができました。各地区理事・発表者、関係者のみなさまの尽力に、心から感謝いたします。大会におきましては、各地区とも概ね講演と研究発表の二部構成でした。

講演では、「思春期の性とエイズ」など、今時の高校生の性や命の大切さを考える講演、「携帯電話・インターネットの危険」「犯罪の被害者・加害者となる高校生の実態」など、大切なわが子を守るための親の役割を教えていただけた講演、「子育ては親育て」など、生活習慣・環境が子どもにどれだけ影響するかを考えさせられた講演など、『生徒の豊かな心を育む活動の推進』のために、大変役立つ講演ばかりでした。



を生かした日頃のPTA活動の成果、学校のため、子どもたちのために取り組む様子を見せていただきました。また、子どもたちのためだけでなく、私たち保護者が楽しめるPTAの在り方、家庭や学校だけでなく、学校から地域へと出て行うPTA活動など、いろんな意味での「学び行動するPTA」の様子も見せて頂く事ができました。各地区大会、大変充実した有意義な大会であったと思えます。皆様のこれからのPTA活動にぜひお役立て頂きますようお願いいたします。

(研修委員会)

## 交通安全大会

「こどもたちの安全を守るために」

今年度も県下10地区において「交通安全大会」が多く開催され、昨年同様9地区においては高校生大会とPTA大会の合同により行われました。各地区の交通安全担当者、発表者及び関係者の皆様のご協力により感謝申し上げます。

各地区とも県高P連交通安全運動関係事業の目標である「生命尊厳の理念に立った交通安全運動の推進」のため、平成22年度より始まった、みんなの交通安全教育推進運動「スタートかながわ」のモデル校の実践報告や自転車事故防止などのための発表が行われ、クイズや寸劇、また映像を活用することにより、交通安全に係る課題やマナー、ルールについて解りやすく、楽しく再認識することが出来る場となりました。

(健全育成委員会)

●何の取り得もない私ですが、まわりの優しさ温かさに支えられ、笑顔いっぱい楽しく活動することができました。みなさんどうもありがとうございました！  
(お)

## 編集後記

●日本中が思いやりと助け合いでひとつになった年に、高P連の仕事に夢中になった事を誇りに思い、すてきな仲間へ感謝です。  
(ち)

●何事もやってみなければ分からない、そんな開き直りの気持ちで活動した一年でした。今は充実感でいっぱいです。  
(ぜんべい)

## あっ発見!



見つけたら、ぜひ各ページをご覧くださいね！各地区での大会の様子、高P連会議報告、トピックスなど随時アップされています。各単位PTA、各地区での活動内容を充実させながら円滑に運用できるような情報を発信していきます。効率的な活動を図るためにぜひご利用ください。また、この会報の内容はホームページとも連携していきます。ご意見・ご提案などお待ちしています。

<http://www.kanagawa-koupren.org>

神奈川 高P連

検索



# 第61回全国高等学校PTA連合会大会

## 平成23年度交通安全功労者交通安全対策本部長表彰

結成以来、60年の長きにわたり、神奈川県立高等学校PTA連合会が行ってきた交通安全運動の業績が認められ、10月5日、霞が関ビル東海大学校友会館で表彰式が行われました。受賞者は個人部門16名、団体部門5団体、市町村部門4市町でした。運輸大臣（当時）から当連合会柳川会長に表彰状と記念楯が送られました。私たちPTAの地道な活動がこのような形で認められるのはとてもうれしいことです。



歓談する柳川会長と運輸大臣(当時)

## 北海道大会

8月、北の大地に全国の高等学校PTAが集い、「いのちの輝け！」のテーマのもと大会が盛大に開催されました。開会式では地元高校生たちによるアトラクションが華やかに繰り広げられて会場を盛り上げていました。精神科医の香山リカ先生の全体講演は、今の時代を必死にもがいている高校生たちの心の叫びを代弁しているようでした。生きているだけで凄いことなんだ...と。

分科会では九州地区代表の発表でPTA活動参加率が約90%というのがとても印象的でした。

二日目の旭山動物園前園長の小菅正夫さんの全体講演では、動物園のエピソードや動物たちの営みのお話から、命の大切さを再認識させて頂きました。

色々なお話をいっぱい聴いて、美味しいものをいっぱい食べられて、心に残る大会でした。

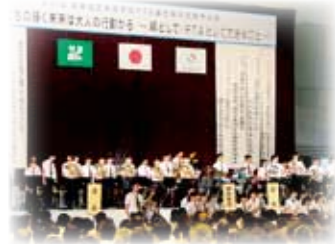


## 第57回 関東地区高等学校PTA連合会大会

## 栃木大会

本年度の関東大会が7月8日、9日の二日間に亘り、華々しく開催されました。

栃木県宇都宮市並びに日光市を会場とし、テーマに「子どもたちの輝く未来は大人の行動から」として、PTAとしてできること」を掲げ、高校教育、進路指導、生徒指導、家庭教育、特別支援教育並びに食育とPTA活動の係わりについて、望ましいあり方や新しい時代の教育の充実に向けて考える意義ある大会となりました。



記念講演では落合恵子さんより、いのちとところを軸に今を生きていることについてお話を頂き、特に落合さんが過去に手掛けた楽曲「空より高く」が、東日本大震災の被災地において園児たちの歌声で復活し多くの方々の力となった事。その原曲が会場に流れた時、私たちの心にも熱い思いが響き渡りました。

本年の大会は震災を経て、準備、開催に至るまではたくさんの方々の苦勞があった事と感じましたが、「昨年の神奈川大会には及びませんが精一杯のおもてなしを心掛けました。」と話していた栃木県の会場スタッフの方の笑顔が象徴する心温まる大会でした。

## ●● かながわ教育ビジョンの推進 ●● ~ 心ふれあう しなやかな 人づくり ~

県教育委員会では、明日のかながわを担う人づくりを進めるため、様々な取り組みを行っています。



### 高校生ボランティアセンター 新規スタッフ募集

県教育委員会では、平成18年度より生涯学習情報センターの一部に高校生ボランティアセンターを設置し、高校生のボランティア活動の支援を進めています。

平成23年度は、公募により集まった37名のスタッフが、環境・国際、青少年の2分野のグループに分かれ、スタッフ以外の高校生が参加できるボランティア活動を企画・実施しました。県内の多くの高校生がボランティア活動に参加してくれました。

■平成23年度 高校生ボランティアセンター活動発表会のご案内  
(日時：3/11(日)13:30~15:30  
会場：かながわ県民センター5階 入場自由)

■平成24年度 新規スタッフ募集  
(募集人数：40名 応募締切：4/24(火))を行います。詳しくはホームページをご覧ください。  
高校生ボランティアセンターホームページ [http://www.planet.pref.kanagawa.jp/k\\_vol/k\\_vol\\_top.htm](http://www.planet.pref.kanagawa.jp/k_vol/k_vol_top.htm)

● 問い合わせ/県生涯学習情報センター ●  
住所 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2  
かながわ県民センター5階  
電話045(312)1121 内線2506

### サンマルサンサン 3033運動

キビキビ、サッサで『あなたのからだはヨミガエル・ミチガエル・ワカガエル!』

「歩くときにはキビキビと」「窓拭き、床拭きは大きくサッサと」など、普段の動作をテキパキと意識して行う「日常生活の運動化」から3033運動に取り組んでみませんか?

神奈川県では、県民の皆さんが一人でも多く、健康で明るく豊かな生活を営んでいただくために、1日30分、週3回、3ヶ月間、継続して運動やスポーツを行い、くらしの一部として習慣化する「3033運動」を推進しています。

各学校PTAの研修等で、「3033運動講習会」の開催もできます。

まずは、ホームページにアクセス!

3033運動



「不登校ほっとライン、土曜不登校相談」のご案内  
神奈川県立総合教育センターでは、不登校に関するさまざまな悩みやお問い合わせに応じています。  
「不登校ほっとライン（電話相談）」電話0466-81-0185 月曜～金曜 8:30～21:00 土・日・祝休日8:30～17:15(12/29～1/3を除く)  
「土曜不登校相談（来所相談・要予約）」毎月第4土曜（10月、3月を除く）8:30～17:15 問い合わせ0466-81-8521(教育相談課)

### 「Let's! Enjoy! 健康☆体力づくり」

これまでの体力・運動能力調査の結果から、毎日朝食を食べている子どもは、食べない子どもよりも体力合計点が高いなど、体力や運動能力と生活習慣に関係があることが分かっており、本県では、生活習慣の見直しに重点をおいた体力向上に取り組んでいます。

これまでの神奈川県児童生徒体力・運動能力調査において、朝食を食べる割合は、年齢が上がるにつれ低下しています。平成22年度と同調査では、朝食を毎日食べる割合は、高校生の年代となる15歳で73.2%、16歳で70.2%、17歳で66.0%となっています。

そこで、「Let's! Enjoy! 健康☆体力づくり」を合言葉に、また「しっかり朝食、たのしく運動、テレビはひかえて、ゆっくり睡眠」をキャッチフレーズとして、小・中学生及び高校生の生活習慣改善に向け、学校・家庭・地域が連携し、それぞれの立場で支援する取り組みを推進します。

皆さんもご家庭で運動習慣や生活習慣の改善のために、できることから取り組んでみてください。

### これからの 県立高校のあり方

県教育委員会では、これまで県立高校の再編統合などによる新しいタイプの高校設置や、すべての県立高校において特色ある高校づくりを推進するなど、活力と魅力ある県立高校づくりを推進してまいりました。

今日、高校教育を取り巻く状況は変化し続けており、諸課題に迅速な対応が求められていることから、平成23年3月に「これからの県立高校のあり方」として、「幅広い学習ニーズに対応する多様な柔軟な教育の展開」「生徒一人ひとりに応じたきめ細かな教育支援」「確かな学力の向上」「社会生活実践力の育成」などを柱とする方向性を示し、今後、新たな時代にふさわしい県立高校の実現に向けて取り組んでまいります。

その一つとして、新たな時代の要請に応える専門教育を推進するため、専門高校及び普通科専門コースの充実・改善を進めてまいります。また、定時制のしくみを活用して昼間の時間帯に学ぶことができる多部制定時制高校を、元・港南台高校の敷地、施設を活用して平成26年度に開校することとしました。

### 「フィルタリング」設定が義務化

平成23年4月に神奈川県青少年保護育成条例が改正され、青少年が所有する携帯電話にフィルタリングを設定することが義務化されました。

子どもたちの携帯電話等に関する犯罪被害やトラブルなどを防ぐために、有害サイトへのアクセスをブロックするフィルタリングは必要不可欠です。

また、家庭内のルールを決め、携帯電話等を持つことの責任を子どもに自覚させ、保護者が子どもの携帯電話等の使用状況に対して関心を持つことが大切です。

携帯電話の安全・安心な利用のための携帯電話サイト「かながわモード」を開設していますので、是非ご利用ください。

携帯電話サイト 「かながわモード」  
子どもたちが携帯電話を安全・安心に利用するために  
<http://www.pref.kanagawa.jp/mbi/f100021/>

### ファミリー・コミュニケーション運動 ~もって、話そうよ。大切な家族だから~

ご家族でコミュニケーションを積極的に取っていますか?

相手を思いやり大切にできる子どもを育てるため、家族のコミュニケーションを深める環境づくりを推進しています。

詳しくは県ホームページをご覧ください。

いじめ等の未然防止を目的として、家族でのコミュニケーションを大切にし、子どもたちが自分の気持ちを素直に表現する力や相手を思いやる気持ちを育む「ファミリー・コミュニケーション運動」を推進しています。

神奈川県教育委員会 かながわ元気な学校ネットワーク推進会議

ファミリー・コミュニケーション運動

